

✉ カンボジアからの活動報告。

清モーガン三恵子

看護師。大阪生まれの大坂育ち。アメリカの看護師資格を取るためにハワイに留学。20年前に夫とともにカンボジアへ。アンコール小児病院で働いた後、2015年からシェアに参加。



シェアは2008年から、乳幼児健診をカンボジアに定着させる努力を続けています。

子どもの体重を量り、成長曲線をグラフにして見るだけで、子どもの栄養状態がわかります。

病気の子どもを発見できるだけでなく、栄養不良の子どもたちの病気を未然に防ぐことができます。

お母さんたちの意識を変えるために、離乳食教室を開くことも大事な活動です。

ひとりでも多くの子どもたちの命を守るために、シェアの地道な努力は続きます。

カンボジアの事務所は今年から日本人一人体制になりました。

期待と不安を感じながら二年目の活動が始まります。

みなさまのご支援をどうかよろしくお願いします。



✉ 東ティモールからの活動報告。

福山 修次

テニスクラブでコーチとして働いた後、青年海外協力隊に参加してサモアとバングラデシュでテニスコーチとして活動。

その後、ラオスでNPO職員として母子保健プロジェクトに携わり、2016年からシェアに参加。

東ティモールは、人口の約半分が15歳以下の若い国です。

しかし、5歳以下の子どもたちの32%が下痢などの予防可能な感染症で亡くなっています。

たとえば手を洗うことを学び、習慣にするだけで、感染症を防ぎ、

子どもの命を守ることができます。わたしは今、

東ティモールのディリ県で学校での保健教育の仕組みづくりを国と県とともにしています。

現地のたくさん的人が自らの国をよくしようと動き出しています。

シェアの現地代表として、この国の子どもの将来のために来年も全力を尽くしたいと思います。

どうか冬の募金をよろしくお願いします！

天の川募金へのご協力、大変ありがとうございました！

7月1日～9月30日で226名の方にご協力いただき3,085,540円のご寄付が集まりました。